

来週の「売り物記事」はこれ



2020年1月10日号 毎日新聞東京本社 編集編成局・販促宣伝部

野党結集へ 小沢一郎氏インタビュー

夕刊特集ワイド 14日(火)

20日から始まる通常国会を前に、「政権の受け皿」づくりを目指す立憲民主党と国民民主党の合流協議が大詰めを迎えています。1993年発足の細川護熙政権、2009年発足の鳩山由紀夫政権と過去2度、自民党が下野した政権交代劇のキーマン、小沢一郎・元自由党共同代表(77)＝国民民主党＝にインタビューし、野党勢力結集の見通しを聞きます。



犬猫多頭飼育の実態

くらしナビ面 15日(水)



ペットの犬や猫が増えすぎて世話をできなくなる「多頭飼育崩壊」が各地で相次ぎ、悪臭や騒音に対する近隣住民の苦情が自治体に寄せられています。環境省が実態を調べると、飼い主の貧困や社会的孤立、認知症や障害などさまざまな要因が浮かび上がりました。防ぐためにどうするか、方策を探ります。

気づきにくい貧血

くらしナビ面 15日(水)から

「女性はなりやすいから仕方ない」。そんな誤解から放置されがちな貧血ですが、がんなどの病気が潜んでいて大変な事態に陥ることもあります。シリーズ「女性のカラダノート」では、日本人女性の10人に1人とも言われる貧血を3回にわたり取り上げます。初回は貧血患者の7割を占める「鉄欠乏性貧血」。予防や気づくために知っておきたいポイントを紹介します。



論点 米大統領選を占う

オピニオン面 15日(水)

1月3日の米大統領選が、あと10カ月あまりに迫りました。米社会は、トランプ大統領支持、不支持を巡り分断が深まっています。トランプ氏の強固な支持基盤となっている白人右派の動向を研究しているカリフォルニア大バークリー校のアーリー・ホックシールド名誉教授(80)に、米国社会の分断が続く背景と、融和実現に向けた課題を聞きます。

歌声ステージが人気

くらしナビ面 17日(金)



学生運動が盛り上がった1950～70年代にかけて、東京の若者を中心に「歌声喫茶」が流行し、お客が声を合わせて唱歌や民謡を歌うことで連帯感を深めました。こうした合唱形式を取り入れた「歌声コンサート」が今、再びシニア層の心をつかんでいます。会場に足を運び、その熱気に触れてきます。

特集「阪神大震災25年」

特集面 17日(金)



6,434人が亡くなった阪神大震災から、17日で25年になります。四半世紀がたった今、記憶の風化と向き合いながら、体験と教訓を未来へ伝えていこうという取り組みが続いています。学生ら若い世代にも受け継がれる語り部活動の現状や、神戸市にある「人と防災未来センター」が保管する約19万点もの貴重な1次資料について紹介します。

受験前のリラックス方法

くらしナビ面 19日(日)

全国各地で本格的な受験シーズンを迎えました。志望校を目指す受験生は、追い込みの勉強や試験本番に臨んでいます。勉強中や試験前など、心身をリラックスさせる体のほぐし方や、食事で工夫する方法を専門家に聞きました。寒さで運動不足になりやすい季節でもあるので、受験生に限らず取り組める内容です。



奇跡の三角定規

1面、Sストーリー面 19日(日)



戦後70年以上たったある日、沖縄県糸満市の壕(ごう)から沖縄戦で命を落とした日本兵、小西幸一さんの三角定規が見つかりました。毎日新聞の取材がきっかけで、昨年7月に長女の山口紀子さん(74)の元に返りました。出征後に生まれ、会ったことがない父。その足跡をたどろうと定規と共に奈良から沖縄へ慰霊の旅に赴いた山口さんに密着し、平和を求める思いに迫ります。

※ 都合によっては掲載日や内容を変更することがあります。